

# 冬季オリンピック開催！ 歴史と経過 Part①



待ちにまった冬季オリンピックの開催です。やはり気になるメダルの獲得数ですが、下表のような経過を辿っていることを是非ご注目下さい！

歴史と辿りますと、日本が初めて冬の五輪に参加したのは1928年のこと。第2回アイス・サンモリツ大会の時です。6人のスキー選手のみでの参加でした。明治の時代になり、今まで冬スポーツという概念に無縁だった我が国におきまして、1911年に初めてスキーが日本陸軍に導入されて以来、急速に国民の間に普及していきます。

そして戦後になり、5回目のイタリア大会において猪谷選手がアルペンスキー回転競技で銀メダルを獲得。日本人初のメダリストというより、ヨーロッパ選手以外の初めての快挙は世界中をあっと言わせるほどでした。

その後忘れもしない第11回札幌大会。「日の丸飛行隊」として颯爽と登場した3人が、70メートル級ジャンプにて金・銀・銅メダルを独占する大金星を上げて、日本中を歓喜の渦に巻き込みました。小学校3年生だった私も、これには大いに感動しました。

さてこの度の平昌大会、ジャンプやスケート、その他多くの競技に日本人選手の活躍が期待されておりますね。私も手に汗握りながら観戦を楽しませて頂きます。

## 【冬季 オリンピック 日本メダル推移】

回	開催年	開催都市	日本のメダル数				主将(敬称略)
			金	銀	銅	合計	
11	1972	札幌(日本)	1	1	1	3	鈴木 恵一
12	1976	インスブルック(オーストラリア)	0	0	0	0	笠谷 幸生
13	1980	レークプラシッド(アメリカ)	0	1	0	1	久保田 知男
14	1984	サラエボ(ユーゴスラビア)	0	1	0	1	出口 弘之
15	1988	カルガリー(カナダ)	0	0	1	1	黒岩 彰
16	1992	アルベールビル(フランス)	1	2	4	7	佐々木 一成
17	1994	リレハンメル(ノルウェー)	1	2	2	5	橋下 聖子
18	1998	長野(日本)	5	1	4	10	荻原 健司
19	2002	ソルトレークシティ(アメリカ)	0	1	1	2	原田 雅彦
20	2006	トリノ(イタリア)	0	1	0	1	岡崎 朋美
21	2010	バンクーバー(カナダ)	0	3	2	5	岡部 孝信
22	2014	ソチ(ロシア)	1	4	3	8	葛西 紀明

今月の

水戸まさし応援団

「愚直に前へ前へ」

水戸さんのポスターが新しくなった。

「ひた向きに、まっすぐに」進む姿勢を活字にして打ち出した。

今年のNHK大河ドラマは、明治維新で大きな役割を果たした西郷隆盛を主人公にした「西郷どん」。脚本を手がけた中園ミホさんは「辛酸を味わってきた男たちがものすごい熱量、情熱で幕末時代を生きて、明るい未来をもたらそうと新しい時代を築きあげていった逆境の物語」だと語っている。

水戸さんが尊敬する人は西郷隆盛だそう。史実と物語にはそれだけの相違点はあるだろうけれど、愚直に前に進み続けた男に魅力を感じ、自身の人生と重ね合わせているところがあるのではないかと思った。

ポスターでは「今の危機を乗り越え、未来を開く...、それが政治だ！」と、訴えている。

自民党一強の流れを見ると、野党自滅の感が強い。野党の政治体制にいつ大きな変化が起こるのか、また興せるのか...

そばに居る人の気持ちを察し、今いる場所を大切に。そして地域に寄り添った活動を続ける水戸さんを今まで以上に応援していきたいと思う。

水戸応援団

Mチーム 益田 正廣

### ◆事務所

〒245-0008

横浜市長区弥生台26-6

TEL: 045-814-3001 FAX: 045-814-3007

メール: kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>

◆Face Book: 「水戸将史」で検索

◆Twitter: @mito\_kickoff

◆メルマガ: 登録はHPから